

音楽-11

Music Fusion in Kyoto 音楽祭 奏プログラム実施メニュー【基本案】

* 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

■ 基本情報

ジャンル	音楽、ダンス		
対象となる学年	小学校 1, 2, 3, 4, 5, 6 中学校 1, 2, 3 特別支援学校（小 中 高）		
対象となる科目（例）	体育、音楽、その他（総合学習等）		
実施可能地域	南丹、乙訓、山城		
実施回数	1～3回	1回の 所要時間	45～90分
実施可能人数	25～30名程度/各回		
実施団体	団体名 一般社団法人タッチョナ 代表者名 小島 剛 担当者名 小島 剛		
連絡先所在地等	〒550-0012 大阪市西区立売堀1丁目4-12 立売堀スクエアビル8F-34 TEL/090-4308-5744（小島） FAX/06-6672-0577 E-mail/kojima6912@gmail.com		
団体、講師のプロフィール	2010年から大阪市内の小学校を対象にした現代芸術の体験プログラムをスタート。2012年から京都府「学校・アート・出会いプロジェクト」を受託。2015年に一般社団法人タッチョナ」を設立。2017年以降はこの事業に加えて、継続的に文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」受託している。そのほか、地域のアート・センターや施設での子ども向けプログラムに加えて、市民を対象にしたアート・ワークショッププログラムなどを企画・コーディネートしている。 http://touchonart.net		
実施可能な時期（期間）	秋以降の実施が望ましい。		

■ 実施内容

対象となるプログラム	体験
テーマ (タイトル)	アフリカン・ドラムワークショップ（講師：横沢道治/ンコシアフリカ（河辺知美））
趣旨・目標 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカの太鼓（ジェンベ）やマリンバ、世界の打楽器などを使ったワークショップを行います。 ・ 一人一台のジェンベを使って叩き方を習い、大勢で太鼓を打ち鳴らすことでアンサンブルの楽しさを学びます。 ・ またアフリカのダンス（ズールーダンス）などを学び、身体で感じるリズムの楽しさなどを体験し、楽器や身体表現を通じて異文化を学びます。
全体計画 (案)	<p>(ワークショップの一例)</p> <p>1日目：講師によるデモンストレーション演奏/打楽器体験/ 2日目：一人1台のジェンベを使って基本的な叩き方のレクチャーと様々な叩き方のバリエーションを学ぶ 3日目：全員/グループのアンサンブルとアフリカン・ダンス体験 ※各児童・生徒が体験できるパーカッション（ジェンベ）を貸与します。（25-30台程度） ※内容はクラス・学年の人数や要望に応じてアレンジが可能です。</p>
実施場所	教室や音楽室、体育館など
講師等	講師2人 講師名：横沢道治+ンコシアフリカ（河辺知美） スタッフ2人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容に応じて全体での取り組みも可能ですが、ジェンベの体験学習においては、貸与できるパーカッションの数に限りがあるためクラス単位での実施となります ・ 体育館での実施の際にはマイクなどの設備を必要とします。

○講師プロフィール

横沢道治

大阪の伝説的なパーカッション楽器店“タムタムカンパニー”を運営し、ジェンベ奏者・即興音楽家として様々な表現者と共演している。また、関西一円でジェンベ教室を主宰。高齢者、放課後等児童デイサービスでのジェンベ指導、幼稚園・小学校・支援学校での公演など、タイコを通して幅広い関係づくりをしている。京阪神地域の小学校でのワークショップは多数実績あり。

